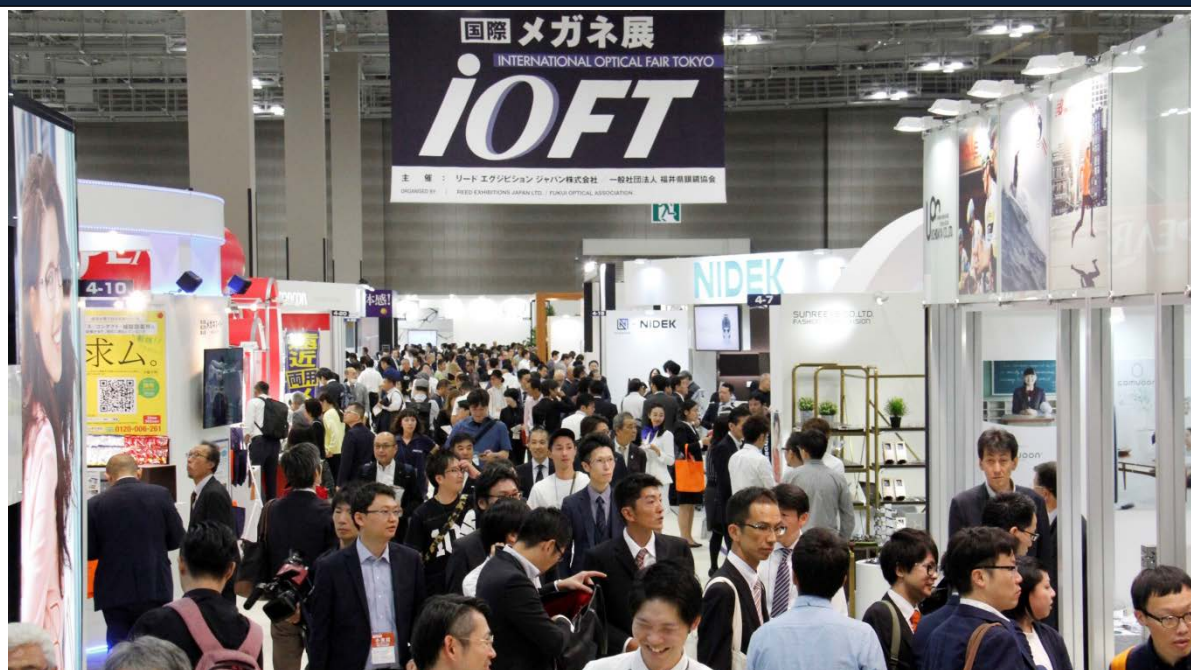


## 31年目のIOFT2018 前回比 50社増 390社が出展！



(前回 (2017 年) 展示会場風景)

国際メガネ展 (IOFT) を主催するリード エグジビション ジャパンと福井県眼鏡協会は、来る 2018 年 10 月 22 日[月]~10 月 24 日[水]に、東京ビッグサイトにおいて開催される第 31 回 国際メガネ展 IOFT2018 について、7 月 27 日に『記者発表会』を開いた。

まず冒頭今回 31 回目を迎えるにあたり、主催者のリード社 取締役 IOFT 統括事務局長の岡部氏から「31 年目を迎え、改めて初心に戻り原点に立ち返って、今後も IOFT を業界の役に立つ意義ある展示会にしていく。そのために、1 つ目は出展社と来場者との商談がさらに活発になるよう様々な活動を強化する。2 つ目はメディアへの露出や SNS の発信強化により、一般消費者のメガネ需要喚起をさらに推進していく」と強い宣言があった。その後、今回 IOFT 2018 の現状として、IOFT2018 は前回に比べ 50 社増の 390 社が出展すると発表があった (前回 344 社)。

出展社が増加している 1 つの要因として、新規・復活出展の増加があげられる。東海光学、リアル、GLASSART、J.FREY (フランス)、Morel (フランス)、William Morris (イギリス) などの復活出展が決定している。また、近年は眼鏡店がオリジナルブランド製品を持つケースが増え、「他の眼鏡店に拡販」を目的に IOFT に出展する小売店が増加している。Kamuro、東京オプチカル、メガネスーパー、イワキ、などに加え、今年はナカハラ (熊本)、ojim (東京) が初出展する。昨年に引き続き、増永眼鏡、ポストクラブ、マーシオン、内田屋、ヤブシタといった IOFT には欠かせない企業も今まで以上に新製品に力を入れて出展、例年以上に魅力的な会場となる。

続いて、もう一方の主催者である福井県眼鏡協会の竹内会長からは、「昨年あたりから福井産地も、生産数が増加に転じ、徐々にではあるがようやく復調の兆しを実感している。これから福井産地全体が確実に成長していくために、IOFTへの出展を生かして、新製品の開発に力を入れたり新しい取引先を探したりと、今まで以上に真剣に取り組んでいる。」と述べ、「今回IOFTの福井県からの出展は、新しく出展する企業含め、昨年を上回る過去最多の90社が出展する（前回85社）。各社今まで以上に力を入れて出展する」と発表した。

事務局によると、用意している出展スペースの95%が埋まっており、まもなく完売になるという。本展に興味のある方は至急、事務局までご連絡いただきたいと呼び掛けている。



#### 出展・来場に関する問合せ先

主催者：リード エグジビション ジャパン（株） IOFT 事務局

〒163-0570 東京都新宿区西新宿 1-26-2 新宿野村ビル 18F

TEL: 03-3349-8508 FAX: 03-3344-2400 E-mail: [ioft@reedexpo.co.jp](mailto:ioft@reedexpo.co.jp) URL: <https://www.ioft.jp/>